



学校だより

5月号

2014年4月30日
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

時には塩味も大切

校長 中川 和幸



入学して1か月。母親と離れるのに少し時間のかかる子
 いますが、1年生も花いっぱい校門から元気に登校してき
 ます。学校生活にも慣れて、休み時間には友だちと仲よく
 遊んでいて、給食もおいしそうに食べています。

中村小学校の給食は、栄養士の松崎先生のきめ細かな
 レシピと、調理員さんたちの丁寧な調理で、とてもおいしいので好き嫌いのある子でも、すぐに完食でき
 るようになるはずです。好き嫌いのあった私も給食の味付けの良さのおかげで、毎日お昼が楽しみにな
 り、偏食が直りました。

ところで、先日私が横浜市の水戸黄門と思っている元教育委員会の先生が学校を訪問されました。
 まるで私の動きをどこかで見ていらしたかのように、「校長は先生を育てなければいけないよ。育てるに
 は我慢も必要だよ。自分で何でも手を出しては育たないよ。」と、厳しいお言葉をいただきました。

そして自分の行動を反省していたその夜に、今度は市体育研究会の先生方の集まりで、元会長の
 校長先生から「時には塩味が大切だよ」とのお話を伺いました。先輩の先生がおっしゃりたいことは、
 「うまくいっているからこそ、期待もある。時には厳しい注文もしたい。少しくいつい注文や意見にも耳を
 傾けるように。」という意味とのことでした。少し耳が痛い一日でした。

4月、5月は地域理解週間などで、保護者や地域の方々とお会いする機会も多い時期です。いろい
 ろのご意見を伺うことがありますが、甘い言葉やお褒めの言葉に満足することなく、辛口のぴりっとしたご
 意見にもしっかり耳を傾けていきたいと思えます。時には、こちらから塩味のきいた報告をするときもあ
 るでしょうが、そのときはうまく味を調べていただければ助かります。

さて、5月24日(土)は、中村オリンピックが予定されています。今年も中村小と特別支援学校との
 一体感をさらに感じていただけるように工夫していきますので、ご期待ください。

* 追伸 栄養士の松崎先生からは、「塩分は控えめに。」と、いつも指導されています。

この研究会は千名を超える先生方が会員となっている研究会で、市の体育行事を円滑にすすめてい
るだけでなく、子どもたちの体力作りにも貢献しているまとまりのある研究会です。